

都学歯困広報

目次

●新・島しょ地区支援事業についての経過報告と事業予定	牧野 寛	2
●地区学校歯科医会からのメッセージ		
●下谷学校歯科医会／東久留米市学校歯科医会	4	5
●最近、気になること その5		
●小児糖尿病キャンプに参加して	澤田 章司	6
●地区ニュース 目黒／江戸川／荒川／板橋／品川／渋谷／葛飾／練馬／麻布赤坂	7	9
●トピックス 平成26年度健康づくりフォーラム／第65回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会／歯の作文審査会／平成26年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」審査会／第78回全国学校歯科保健研究大会／平成26年度ブロック別学校歯科医研修会	9	10
●歯科衛生士から見た口腔保健指導の実際		
●公益社団法人東京都歯科衛生士会 斉藤 敦子	12	11
●第49回東京都学校歯科保健研究大会・予告		
●平成26年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」優秀作品の展示	12	

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ⑦⑥

『生コンクリート工場発祥の地』

かつては建築現場で作っていたコンクリートだったが、1949（昭和24）年磐城セメント＝現在の住友大阪セメント＝が、工場で製造し運搬車で現場へ輸送するようになった。初期はダンプカーで輸送していたが、途中で分離して現場で練り直すことが起こったので、ミキサー車が開発されて1952（昭和27）年ごろから登場、急速に生コンが普及した。（所在地 墨田区押上一丁目） 写真と文 関根正行

一般社団法人 東京都学校歯科医会
〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
-0073 TEL. 03-3261-1675
FAX. 03-3222-6528
<http://www.tasd.or.jp>
E-mail tasd@tasd.or.jp
発行人／鈴木 博
印刷／一世印刷株式会社

111

2014. 11

新・島しょ地区支援事業についての 経過報告と事業予定

島しょ地区サポート事業担当理事 牧野 寛



本会では、長年にわたり島しょ地区支援事業を行ってきました。毎年選択した特定地区に歯科保健にかかわる情報を、冊子、器材類などの発送によって提供してまいりましたが「有効なサポート活動となっているか」を把握しかねておりました。

そこで4年前より、その事業内容の見直しに着手いたしました。まずは、都教育庁にご協力いただき、島しょ地区の教育委員会組織・連絡網を確認いたしました。その後、各地区の歯科保健活動の実態を把握するため、学校歯科医と養護教諭を対象にアンケート調査を実施いたしました。

島しょ地区には9つの教育委員会（大島、利島、新島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、小笠原村…式根島は新島所轄）があり、小学校、中学校が各15校あります。アンケート調査の有効回答数ですが30校中、学校歯科医から15校、養護教諭から21校についていただくことが出来ました。その分析結果（次ページ参照）より、サポートすべき内容が明らかになってきました。地域差こそありますが、総じて活動条件にハンディを感じていることがわかりました。

これを受けて当会では、新たな支援活動として、現地出向型サポート活動を企画いたしました。まずはアンケート結果の報告と共に「当会からどのようなサポート支援活動を希望するか？」という質問を各校へ向けて発信してみました。結果、大島の小中6校の養護教諭部会、校長会、そして八丈島の大賀郷中学校より、サポート活動を希望するご返答をいただきました。

その希望内容をまとめると、

1. 児童・生徒への歯科保健教育サポート
2. 学校歯科保健組織活動の体制確立への協議助言
3. 学校歯科健康診断をはじめとする保健管理充実のためのサポート
4. その他

保健教育・保健管理・組織活動、まさに学校歯科保健活動の3本柱そのもののサポートを必要と

しているわけです。現地の学校長、養護教諭の先生方と打ち合わせをさせていただき、活動実施日程が決定いたしましたので皆様にお知らせいたします（ちなみに電話・ファックス・メールにより円滑に連絡を取り合うことができます）。

〔大島における活動予定〕

平成26年12月4日（木）15：00～

於：大島町役場内会議室

小学校3校・中学校3校の校長会

養護教諭部会との学校歯科保健勉強会

1. 大島町の学校歯科保健統計内容についての考察
2. 歯科保健指導内容について
3. 各校からのQ&A

〔八丈島における活動予定〕

平成27年1月15日（木）午後

於：町立大賀郷中学校

大賀郷中学校にて、生徒への歯科保健活動

1. 生徒への歯科保健実習
2. 教諭・父兄を交えての講話
3. 歯科保健活動について、養護教諭との協議

以上、2つの出向事業活動を予定しておりますので、実施後改めて皆様にご報告させていただきます。また、都内には島しょ地区以外でも、様々な課題をお持ちの地域があるかと思います。東京都学校歯科医会では、児童・生徒に均一な歯科保健教育が提供される支援体制をめざし、このような事業展開を実施いたします。最後に、日頃より学校歯科保健活動に多大なるご尽力をいただいております先生方に感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をお願い致します。

以上、経過報告と活動予定のご案内をお伝えさせていただきました。

学校歯科医の活動に関する調査

回収 12校（小学校5校 中学校4校 小中学校共通3校）

問1 先生の診療体制

小学校・歯科医院院長・・・4校 依頼診療・・・1校
中学校・歯科医院院長・・・4校
共通・・・大学からの派遣・・・2校 村立診療所契約・・・1校

問2 島での臨床経験

小学校・17年・・・2名 6年・・・1名 2年・・・1名 健診医・・・1名
中学校・20年・・・3名 17年・・・1名
共通・・・9年目・・・1名 4年目・・・1名 2年目・・・1名

問3 歯並び・顎関節などの健康相談に従事していますか

小学校 従事している・・・4校 従事していない 無回答・・・1名
中学校 従事している・・・3校 していない・・・1名
共通 従事している・・・3校

問4 保健指導を行っていますか

小学校 行っている 学校行事・・・4校 無回答・・・1名
中学校 行っている 学校行事・・・2校 行っていない・・・1名
共通 行っている 学校行事・個別指導・・・1名
学校行事・個別指導・・・1名
学校行事・・・1名
不明・・・1名

問5 健康診断に従事していますか

小学校 従事している 年1回・・・3校 2回・・・2校
中学校 従事している 年1回・・・4校
共通 従事している 年2回・・・2校 1回・・・1校

問6 学校保健安全委員会や地域懇談会に参加しているか

小学校 参加している・・・3校 参加していない・・・1校 無回答・・・1校
中学校 参加している・・・2校 していない・・・2校
共通 参加している・・・2校 していない・・・1校

問7 その他、学校保健関係の事業への参加をしていますか

小学校 参加なし・・・4校 無回答・・・1校
中学校 参加なし・・・3校 無回答・・・1校
共通 参加・・・2校 なし・・・1校
共にブラッシング指導

問8 今後、学校保健活動を進めるためには何が必要ですか

八丈三根小・・・リーフレット、研修会、相談窓口、委員会の出席
小笠原中・・・相談窓口
八丈富士中・・・リーフレット、研修会、相談窓口、委員会への参加
八丈大賀郷中・・・同上（同じ担当医）

問9 健診後の事後措置でお困りの点

大島つばき小・・・検診医の依頼のみで、学校医の位置づけがない。
小笠原中・・・歯科指導をしてほしい
母島小中・・・矯正専門医に通院できない
小学校 なし・・・4校
中学校 なし・・・3校
共通 なし・・・2校

養護教諭の活動に関する調査

小学校9校 中学校9校 共通校2校

問1 先生の島で、歯科分野でどのような課題がありますか

小学校
① むし歯が多い6校
② 歯肉の炎症が多い3校
その他 治療率が低い・・・大島つばき小
月に1度2週間歯科医が来る・・・式根島小
特になし・・・小笠原小 式根島小

中学校

① むし歯が多い3校
② 歯肉の炎症が多い5校
③ 不正咬合が多い1校
その他 治療率が低い・・・大島第2中
特になし・・・2校大島第2中、式根中

共通校

① むし歯が多い2校
② 歯肉の炎症が多い0校
その他（痛くても見てもらえない、我慢する・・・御蔵島小中
歯垢清掃が良くない・・・母島小中

問2 児童・生徒の生活環境で気になることはありますか

小学校
① 自販機等で甘いものが簡単に手に入る 2校
② 間食の回数が多い1校
③ 子どもが歯を大切にしない3校
④ 保護者の子どもの歯への関心がうすい6校
⑤ その他（意識が薄い、通院が困難・・・三宅小
地域の方からお菓子をもらう・・・八丈三原小）
⑥ 特になし1校・・・小笠原小

中学校

① 自販機等で甘いものが簡単に手に入る 2校
② 間食の回数が多い1校
③ 子どもが歯を大切にしない3校
④ 保護者の子どもの歯への関心がうすい5校
⑤ その他（通院が困難・・・大島第2中）
⑥ 特になし1校・・・式根中

共通校

子どもが歯を大切にしない1校
保護者の子どもの歯への関心がうすい1校
特になし1校・・・御蔵島小

問3 水道施設等歯科保健活動で使う施設が校内にありますか

小学校 ① 十分にある3校 ② 必要数揃っていない6校
中学校 ① 十分にある5校 ② 必要数揃っていない3校 ③ かなり不足1校
共通校 ① 十分にある2校

問4 日頃どのような歯科保健活動をしていますか

小学校
① 歯みがき指導 9校 ②健康教育 6校 ③ 個別相談 1校
④ 保健だよりの発行9校
⑤ その他（児童保健委員会による歯磨き呼びかけ・・・新島小）

中学校

① 歯みがき指導 8校 ②健康教育 1校 ③ 個別相談 1校
④ 保健だよりの発行9校
⑤ その他（生徒保健委員会による歯磨き呼びかけ運動
・・・大島第一、八丈三原
学校医、衛生士によるブラッシング指導・・・八丈大賀郷
フッ化物洗口・・・神津中）

共通校

① 歯みがき指導 2校 ②健康教育 1校 ③ 個別相談2校
④ 保健だよりの発行2校
⑤ その他（昼食後の歯磨き・・・母島小中）

問5 学校保健安全委員会や地域懇談会に開催していますか

小学校
① 開催している2校 ② 開催していない7校
中学校
① 開催している2校 ② 開催していない7校
共通校
① 開催している2校

問6 学校歯科医とどのように連携していますか

小学校
① 歯科健康診断の連携9校 ② 健康教育での連携5校 ③ 個別相談1校
④ 学校保健安全委員会での運用2校 ⑤ その他（検診医の保健だより）

中学校

① 歯科健康診断の連携7校 ② 健康教育での連携4校 ③ 個別相談0校
④ 学校保健安全委員会での運用0校
⑤ その他（学校歯科医がいない・・・大島第一中・大島第3中
けがなどの対応・・・八丈三原中）

共通校

① 歯科健康診断の連携2校 ② 健康教育での連携0校 ③ 個別相談0校
④ 学校保健安全委員会での運用1校
⑤ その他（ブラッシング指導・・・母島小中）

問7 今後、学校保健活動を進めるためには何が必要ですか

小学校
① 指導用リーフレット4校 ② 研修会 7校
③ 気軽に相談できる相談窓口 2校
④ その他（大島つばき小・・・半分以上の児童がむし歯を保有している。
歯科医院のレベルが違う。今年は優良校応募を忘れました。
残念です。
大島つばき小・・・予防歯科という概念がない。歯科医の受診率が
低い。矯正が島内でできないので、相談ができない。
八丈三原小・・・医療機関、保護者との連携が取りたい）

中学校

① 指導用リーフレット5校 ② 研修会 4校
③ 気軽に相談できる相談窓口3校
④ その他（大島第一中

共通校

第3中・・・大島は検診医なので、学校歯科医が予算的に
置けない。学校歯科医が必要
八丈大賀郷中・・・歯磨きの取り組みができています。歯科医院も
あり、定期検診を行うよう、促していきたい。
小笠原中・・・父島には歯科医院が2件あるが、どちらも予防に
熱心でない。PやGの生徒にもブラッシング指導をしてくれない。
歯科医院を受診した生徒がほとんどいない）

共通校

① 指導用リーフレット2校 ② 研修会 1校
③ 気軽に相談できる相談窓口1校
④ その他（常駐の歯科医師がいない。緊急時は島を出なくてはならない、
負担も大きい・・・御蔵島小中）

地区学校歯科医会からのメッセージ

下谷学校歯科医会

副会長 秋山欣也

台東区学校歯科医会は、浅草地区と下谷地区2つに分かれ、当下谷地区は、上野、鶯谷、秋葉原、谷中、根津、千駄木界限に位置しています。当地区の特色としましては、上野というマンモス駅、国立美術館、谷中霊園を含む数多い寺院、上野公園の森等です。

平成8年ぐらい迄、少子化が進み児童数が減少し続けて小学校、中学校ともに余儀なく閉校、統廃合され続けて来ました。

東京都の義務教育終了時までの医療助成制度の確立や近隣町工場、会社の閉鎖並びに移転による集合住宅の増加に伴い児童数も増え当下谷地区の学校でも教室数不足が生じ、視聴覚室や多目的ホールを教室に改造して対処している学校もある程です。

平成26年現在、区立幼稚園4園、区立小学校8校、区立中学校4校、私立幼稚園2園、私立中学校1校、私立高校1校、都立中学校1校近年、都立高校2校から構成しています。

近年インターネットの普及により児童や親御様のむし歯予防の関心も高まり、フッ素塗布やブラッシングの徹底化でむし歯は、大幅に減少してきました。

これからは、歯列不正、顎関節異常、悪習癖、並びに食生活の生活習慣に至るまで考察していく必要性を感じております。

学校健診では、講話やカウンセリングを含め、食事の内容、時間帯、おやつ回数、内容、食べる順番、飲み物の種類などまで検討が大事かと考えます。

歯列不正に関していえば、第一大臼歯萌出期の対合関係、前歯部被蓋関係、前歯部萌出余地不足、側方歯交換期リーウェイスぺース不足による小臼歯萌出余地不足、犬歯の交換様相等。

悪習癖に関していえば、指しゃぶり、口唇咬癖、弄舌癖、爪咬癖、頬杖等。

顎関節異常に関していえば、関節雑音、開閉口障害、咀嚼筋筋肉痛等。

また、中学生は、スポーツによる外傷、咬耗、夜更かしによる睡眠不足、夜間のブラキシズム、第二大臼歯の萌出等。

できるだけ早期に正常な咬合関係を育成できる適切なアドバイスも今後の課題になってくるかと痛感しています。



東久留米市学校歯科医会

会長 鈴木普久



東久留米市は多摩北部に位置し、北を埼玉県新座市と接する県境の市です。

人口116,000余、65歳以上の市民の人口構成率は24%を超え15歳未満は13%と少子高齢化の顕著な市です。

この10年あまりで市立幼稚園が全園、市立小学校3校が閉園、閉校となりました。現在、市立小学校13校、市立中学校7校、都立高校2校、都立特別支援学校1校の23校に22名の会員が学校歯科医として職責を果たすべく活動しています（特別支援学校は28年度をもって閉校となることが決定している）。

本会の事業計画は、

- 1) 各種大会，学校保健（学校歯科医）講習会，
研修会への参加

関東甲信越静学校保健大会，全国学校保健大会，全国学校歯科保健研究大会，東京都学校歯科保健研究大会等

- 2) (一社)東京都東久留米市歯科医師会への協力
- 3) (一社)日本学校歯科医会, (一社)東京都学校歯科医会への協力
- 4) 東久留米市教育委員会・学校・学校歯科医との懇談会の開催

38年前に健診、歯科保健指導の課題や共通認識を高めるために初代会長が働きかけ、学務課、養護教諭代表、学校歯科医会理事が学校での歯科保健の充実をめざして始めました。

現在は、平成元年から、各校の学校歯科医と委託先の（公社）東京都歯科衛生士会の担当歯科衛生士により行われている市立小学校の3学年、6学年への口腔衛生指導の反省会と歯科関係のテーマについての学習会の形に変えて継続しています。

第1部の反省会では、歯みがき指導の各学校の様子、各学年の様子について養護教諭のまとめや意見の発表に続き、担当歯科衛生士会から各クラスの指導時の様子や感想が述べられ、次年度に向けた話し合いが行われている。

この口腔衛生指導は、10年前より歯科医師会より授業の同一教材として歯ブラシの提供をうけて行われています。

第2部の学習会では、養護会から要望された歯科に関する事項を中心に歯科医としての情報提供等、ともに学習するという視点でおこなっています。

学務課より課長、係長の出席があり、小中学校養護教諭と担当歯科衛生士、学校歯科医が一堂に会するこの事業により行政、学校、衛生士と学校歯科医会ならびに学校歯科医の連携は取り易くなっていると感じられます。

今後の課題は、学校歯科医会、養護会が希望している市立小学校全学年への口腔衛生指導の授業の実現です。市財政の厳しい現状が続いておりなかなか難しい課題ですが実績を積みつつ要望していきたいと考えています。

- 5)「学校歯科医の集い」の開催

38年前に始められた懇談会の後、学校歯科医の健診の診断、事後処置等の扱いに学校間での違いが鮮明化してきたことから、初代会長が32年前に校医の意見交流、学習の場が必要であると、春の健診の終わった7月に開催を決めました。

会員から担当する学校の様子や雰囲気、校長や養護教諭との話の内容などを語ってもらうと、学校運営者の校長先生の裁量や養護教諭、担任教諭の考え方の違いが保健教育の展開に大きく影響していることがわかり会員も勉強になっているようです。また、お互いに活動するにあたっての疑問や問題点なども気軽に話題にすることができ、会員に役立つ行事となっています。

昨年、今年と学校歯科医の健診の診断基準の統一性、一貫性のために診断の要約をまとめ学習会と意見交換をおこないました。

- 6) その他の目的を達成するために必要な事業

以上、児童生徒の皆さんの生涯を通じた健康づくりのための事業をおこなっています。

当学校歯科医会の昭和44年(1969)発足当時は、学校歯科医の引き受け手がなく高度成長に合わせるように新設される小中学校の学校歯科医は、何人かの会員が複数校を受け持つ状態でした。

その後、東久留米市歯科医師会にも会員が増えて学校歯科医の引き受け手となり複数校の問題は解消しました。

会の今後は、他地区でも問題となっている定年制についての結論づけと学校歯科医の希望者の確保が課題であります。

東京都学校歯科医会の理事の諸先生をはじめとして、他地区の先生方の運営や意見を参考とさせていただきますながら東久留米学校歯科医会らしい活動をしていきたいと思います。ご指導よろしくお願い申し上げます。

[illegible]

小児糖尿病キャンプに参加して



学術担当理事 澤田 章司

東京都の1型小児糖尿病の児童生徒24名（小学1年～高校2年）のサマーキャンプが、千葉県の大九十九里浜で2014年8月10～13日に行われた。私は、ボランティアで歯科保健指導を行うためにキャンプに参加することになり、川本会長からは『東京都学校歯科医会を代表して頑張ってきて！』とのエールを頂いた。

本事業は、以前から都道府県単位で行われており、昨年は歯科保健指導の充実を図るために、日本歯科医師会と日本財団が支援している。東京都では33回目となるサマーキャンプだが、今回初めて歯科医師が参加することになった。1時間程度の歯科保健指導だけに参加する他府県とは異なり、私の場合は、3泊4日の全日程に参加することにした。つまり小児糖尿病の子供たちと一緒に生活する中で、毎食後のブラッシング指導や食育の大切さなどを伝え、また個別指導や相談に携わってこそ、その意義や効果が期待できると考えたからである。そこで今回は次の目標を掲げた。『歯の健康の大切さを知ることによって下記目標を達成し、自分の健康は自分で作れるように生涯を通して生きる力を育む』①通常の口腔環境よりもむし歯になり易いことを理解する、②中学生くらいになると歯周病の予防が必要になることを理解する、③生活習慣の中での食の大切さを理解する、の以上である。

キャンプは、保護者が組織する『東京なかよし会』が主催し、駿河台日大病院小児科の先生方が中心に活動している。スタッフは、医師・看護師など総勢約20数名で、何度となく事前の打ち合わせを行った。1型糖尿病の発症原因はウイルス感染とされているが、その症状は千差万別であり、一

人ひとりの病状や処方状況を把握し万全の態勢を取ってきた。そして歯科の立場から私の考え方も受け入れて頂き計画を練った。

いよいよ出発の日である。保護者に連れられて12時に駿河台日大病院に集合した。昨年も参加した子供たちには友達もいるが、初参加の子供たちはとても不安気な様子であった。14時にいざ出発。ところが2時間の車中では低血糖症状になる子供もおり、スタッフは補食など適宜対応をとった。宿に到着して子供とスタッフ全員が自己紹介した後、本日の夕食後からのために、早速ブラッシング指導をスクリーンで画像を見せながら行った。小学1年生から高校生と年齢の幅が広いので、低学年でも分かりやすいように注意を払った。毎日のタイムスケジュールはきちんと決められており、6時に起床しラジオ体操から始まり、毎食前には必ずSMBG（血糖自己測定）をしてからインスリン注射またはCSII（インスリンポンプ）を行う。食後には必ずブラッシングを励行する。9時半の消灯後にスタッフ会議で本日の反省や翌日の確認を行う。夜中にも低血糖症状になる子供たちはおり、当直のスタッフがSMBGをし、補食などの対応をとる。この様な中でも、日中はゲーム、海水浴やスイカ割りなどをして楽しみ、お風呂には男子児童と一緒に入り、私自身、子供たちと仲良く打ち解けられ頼られたことは大きな収穫であった。また当初の目標であった歯の大切さについても子供たちには理解して貰えたものと確信している。解散の時には、来年のキャンプでまた再会出来ることを誓ったあつという間の4日間でした。

給食後の歯ブラシ運動

目黒

平成19年4月より始めた「給食後の歯ブラシ運動」は7年目になりました。開始するにあたっては各校の視察を行い委員会を立ち上げました。その後も試行錯誤を繰り返しましたが、現在は軌道に乗り安定してきました。校長・養護をはじめ学校側の全面的な協力、水飲み場の確保、歯ブラシの保管法・安全の確保、等まだまだ改善の余地は多々あります。また中学校の参



加校を増やしていくのが今後の課題です。

(井上 崇)

フッ化物塗布と歯の健康相談

江戸川

平成26年6月21日(土)学校歯科・歯科医師会・区健康部・区教育委員会協賛で「フッ化物塗布と歯の健康相談」が実施されました。この行事は昭和46年より現在の形態となり毎年続いている行事です。平成16年をピークに減少傾向となり、平成19年10月より江戸川区の医療費助成制度導入により小学生・中学生の医療費が無料になった事に伴い、さらに減少幅が大きくなりました。その為申込方法の簡素化、対象年齢を5歳～小学6年生へ引き上げて対応し減少傾向に歯止めを



かけています。今年度の参加人数は2,320名でほぼ昨年並みでしたが本事業の今後のあるべき姿を現在検討しているところです。

(阪上泰彦)

川本会長、荒川区長を表敬訪問

荒川

平成26年7月17日(木)荒川区役所区長室において、川本会長と小嶋副会長が西川区長を表敬訪問しました。

そこで、都学歯の事業の説明及び食育の大切さについて話し合いました。そして、「味覚とおいしさの科学」10冊を荒川区図書館、保健所等に謹呈いたしました。区として食育に役立てるよう、幼稚園、小学校、



中学校35校分を購入する事を約束し、和やかなうちに懇談を終了しました。

(三浦みつ子)

歯・口の健康に関する図画・ポスター審査会

板橋

平成26年7月23日(水)19時30分より板橋区歯科医師会館2階会議室において歯・口の健康に関する図画・ポスター審査会が開催されました。出品数は、小学校18校、中学校2校で、図画(小学校1年から3年)417点、ポスター(小学校4年から6年、中学1年から3年)小学校173点、中学校8点です。板橋区役所、板橋区歯科医師会、板橋区学校歯科医会の主催3団体の委員会の審査により図画は、特賞1点、1位1点、2位1点、3位1点、佳作10点、努力賞はその



他応募全作品が選ばれ、ポスターは特賞1点、1位1点、2位1点、3位1点、会長賞1点、佳作10点、努力賞はその他全作品が選ばれました。図画・ポスターの特賞作品は、東京都学校歯科医会のコンクールに板橋区代表として提出されました。

(神林秀昭)

品学歯83周年

品川

品川歯科医師会は今年度で創立90周年を迎えます。それに合わせて品川学校歯科医会は、記念誌を発行しますが、歯科医師会が設立してから遅れて7年後に「学校保健委員会」として設立しているので、「83周年記念誌」となります。10年前にそれまでのわずかに残った資料を基に「73周年誌」を発行していましたので、その後の10年分の記録と明日に向けての記念誌としました。

(丸山進一郎)



子育て支援歯科保健活動

渋谷

渋谷区は「産みやすく、育てやすく、働きやすい」子育て環境の整備に力を入れており、全国からも高い評価を得ている区です。平成23年には区立保育園に保育園歯科医を設置し、順次私立保育園に保育園歯科医が配置されました。6月のむし歯予防週間には担当の歯科医師は其々の園で、2歳児から就学前の子供たちにエプロンシアターや紙芝居を行い、楽しく歯みがきの



の重要性や、甘いお菓子がむし歯になる話などをしていきます。

(坂本眞理子)

第46回「よい歯の集い」

葛飾

平成26年6月29日(日)に午後2時よりテクノプラザかつしか大ホールにおいて、葛飾区学校歯科医会および葛飾区教育委員会の主催、葛飾区歯科医師会の後援で第46回「よい歯の集い」が開催されました。

当日は表彰を受ける5歳児の園児、小学校6年生の児童、中学校3年生の生徒、およびその保護者で約600名の出席者で立見の出る程の盛況でした。多数のご来賓の中から、青木克徳葛飾区長、川本 強東京都学校



歯科医会会長からご祝辞を頂き式典に花を添えて頂きました。

(高橋裕幸)

平成26年度 練馬区立小学校長・中学校長との研修協議会

練馬

今年も平成26年9月25日(小学校)及び10月16日(中学校)の両日に平成26年度練馬区立小学校長・中学校長との研修協議会が、練馬区歯科医師会館で開催されました。「万病のもと! 歯周病」,「給食後の歯みがきと歯肉炎の関係について」の研修会を練馬区教育委員会の方々と各小学校長・中学校長及び各学校歯科医が真剣な眼差しで一緒に受講しました。学校長との会話は、学校保健の内容が豊富で有意義です。他地区の



学校歯科医会に推奨したい練馬区学校歯科医会の年間事業の一環です。

(草柳英二)

港区麻布赤坂学校歯科医会 基礎研修会開催報告

麻布赤坂

本会は、学校歯科医（保育園歯科医も含む）の健康診断の基準の統一化を図る目的で、毎年基礎研修会を行っています。本年度は平成26年9月19日（金）本会事務所において開催されました。内容は、むし歯（C）の判定基準を確認した後、抜去歯を用い参加者全員が一歯一歯の判定を行います。そして、顎関節、歯列・咬合の判定基準やその他の疾病・異常についての説明を行っている間に、全員の抜去歯のCについての判定を集計いたします。集計したものをグラフ化し、自身の判定が参加者の中でどのような傾向にあるのか一人一人がチェックを行います。



毎年、質疑応答で出てくるのは歯列・咬合の判定基準です。具体的な基準は示されていますが、「これでよいのだろうか？」という質問がでます。幼稚園から高校までと発育段階が異なっておりますし、あくまでもスクリーニングとしてその辺は個々への対応をしていきたいと思いますということにしております。

トピックス

平成26年度健康づくりフォーラム

平成26年度健康づくりフォーラムが7月31日（木）都庁5階大会議場にて開催された。

ホワイエでは、教育委員会、学校歯科医会、学校薬剤師会とうのポスター発表や給食の展示があった。講演に入り「感染症危機管理と学校の役割」という演題で東北大学医学系研究科微生物分野 押谷 仁先生がグローバル化した現在、日本には無かった感染症が見られることが報告されていると述べられた。



トピックス

第65回関東甲信越静学校保健大会 歯科職域部会

平成26年8月21日（木）本大会終了後、ホテルニューオータニ幕張において、本部会が開催されました。

今回の講演は、「子どもの口腔機能を考える 学校歯科としての気づき」をメインテーマとして、2人の教授による講演でした。

I 「乳児・学童期における機能解剖学的基礎知識

－咀嚼・嚥下機能、味覚の獲得－

東京歯科大学解剖学講座 阿部伸一主任教授

II 「子どもの口腔機能の発達とその支援



－食べ方を育て、心身の健康を支援する－

昭和歯科大学歯学部小児成育歯科学講座

井上美津子主任教授

トピックス

歯の作文審査会

平成26年9月18日（木）15時より、歯科医師会館2階会議室において本会役員、および会誌・広報委員会委員により第1次審査が行われた。応募者630名（小学生396名、中学生234名）で、多数の力作がよせられ、審査基準のもと厳正な審査が行われた。



トピックス////

平成26年度「歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール」審査会

平成26年9月25日（木）歯科医師会館3階第一会議室において標記審査会が開催されました。この事業は今年度から東京都歯科医師会より業務移譲され本会として最初の審査会となりました。審査員長に国立大学法人東京学芸大学理事・副学長（美術科教育学教授）増田金吾先生、副審査員長に千代田区小学校図画工作教育研究部長（千代田区立和泉小学校副校長）伊藤栄司先生が選出され18名の審査員により審査が行われました。



なお、受賞作品は来年1月4日から16日まで新宿西口プロムナード・ギャラリーにて展示されますので、新年に新宿へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

トピックス////

第78回全国学校歯科保健研究大会

平成26年10月23日（木）、24日（金）にわたり、島根県松江市で開催された第78回全国学校歯科保健研究大会に、東京都学校歯科医会からポスター発表がされました。『新たな味覚の試み～冊子「おいしさ」と味覚の科学」の活用～』が発表されました。東京都関連では他に4件の発表がありました。



トピックス////

平成26年度ブロック別学校歯科医研修会

平成26年度ブロック別学校歯科医研修会が東京都教育委員会、東京都学校保健会、東京都学校歯科医会の主催で開催され、今年度は城南ブロック（玉川歯科医師会）が9月18日、城北ブロック（滝野川歯科医師会館）が10月9日、多摩ブロック（三鷹産業プラザ）が11月13日に開催されました。平成26年度は「味覚とおいしさの科学～和の味を子供たちに伝えるために～」という演題で東京歯科大学生理学講座の澁川義幸先生が講演されました。今年3月に発行された「味覚とおいしさの科学」の冊子に基づいて1）味覚の基礎2）ステージに応じた味覚教育3）誰でもできる味覚の実

験4）味覚の障害について5）和食って素敵 を丁寧に話され、子どもたちに和食の素晴らしさを伝承していきたいと述べられました。



城南ブロック



城北ブロック



多摩ブロック

歯科衛生士から見た口腔保健指導の実際

公益社団法人東京都歯科衛生士会 齊藤 敦子

杉並区学校口腔保健指導は今年度、小学校3年生を対象に42校、中学校1年生を対象に23校（支援学級を含む）、特別養護学校1校、子ども園4園を学校歯科医と東京都歯科衛生士会会員が巡回しています。平成13年に杉並区学校歯科医会の事業として3校から開始されました。学校歯科医会役員の先生方、教育委員会の方、養護教諭の方々の口腔保健に対する熱心な取り組みと、同じように熱い思いで指導に携わる歯科衛生士の姿勢により平成16年度から小学校全校で、また平成18年度からは、中学校全校で杉並区の事業として実施されるようになりました。

現在、子どものむし歯は減少傾向にあります。一人で多くのむし歯を保有する子どももおります。また現在わが国は、世界一の長寿国です。そしてそれに伴い「健康寿命」の延伸が求められています。しかし長期にわたる不適切な生活習慣が原因で起こる生活習慣病が大きな問題になっています。生活習慣病の素地は学齢期の頃から始まると言われており、学校において行われる健康観の育成と健康行動の確立が重要です。しかし、一般に健康に対する興味や認識が低い子どもに、実態が見えない病気を理解させる事は難しい事です。この事から、体の状態や変化を鏡で直接見て観察する事ができる「口腔」は、極めて貴重な教材となります。小学3年生の授業では、前半にむし歯の成り立ちから予防方法を自ら考えて答えを引出して行きます。後半は歯みがき実習を行います。平成18年度から2年間、全小学校に協力を頂き、口腔保健指導を受けた3年生が進級した4年生を対象に指導内容の理解や行動変容についてのアンケートを実施致しました。その結果は杉並区学校保健部会でも発表致しましたが、91%の生徒が有意義な授業内容であった。70%の生徒が歯みがきで歯垢（細菌の塊）を除去

している事を理解できた。

87%の生徒に行動変容があった。

以上の結果が得られ、杉並区学校歯科医会としての取り組みに対し教育委員会より大きな評価を頂きました。中学1年生の指導では、歯肉炎について、丁寧な歯みがきで改善できること、歯周病は全身疾患とも深い関わりがある事にも触れています。真剣に受講する子どもの姿が印象的で、小学校での授業が活かされている事に感動する場面もあります。また教育委員会から指導時に子ども達へ各1本の歯ブラシプレゼントがあり、持参の歯ブラシと、配布された物を使用して大きさや硬さなどを比較します。特に混合歯列期では小さ目の歯ブラシが適している事を理解し、次回購入する時の目安を知る良い機会にもなっています。平成21年には、昼食後の歯みがき実施のための水場を増設したモデル校では、新型インフルエンザ猛威に対して罹患率や学級閉鎖率が区内他校に比べて少なかった事実について当時の杉並区長や歯科医師会会長の発言がテレビニュースで放映され反響を呼びました。指導に当たり歯科衛生士は、常に子どもの目線で現場状況を把握し、担当者間の意識統一を計っております。学校歯科医の先生や養護教諭からも率直な意見を頂き、手作りの視覚媒体も工夫し、より分かり易い内容へリニューアルする事を心がけております。

平成23年に「歯科口腔保健推進に関する法律」が施行され、今後口腔保健教育が重要性を増すと思われます。私たち歯科衛生士は、これからも学校歯科医会、教育委員会や関係の方々と連携して杉並の子どもたちが生涯を通して健康的な生活を送れるよう自律的健康観の育成に取り組み、また本事業が更に発展して行くよう努力して参りたいと思います。

第49回 東京都学校歯科保健研究大会

期 日 平成27年 2 月 12 日 (木) 13:30 受付開始

会 場 文京シビックホール 大ホール

日 程 14:00 開 会

表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・歯の作文入選者・図画・ポスター入選者
学校歯科保健功労者・学校歯科医30年勤続会員

14:45 優秀作文ならびに図画・ポスター発表

作文講評 額賀 聡 (千代田区小学校国語教育研究部長)

図画・ポスターコンクール画評 増田 金吾

(東京学芸大学理事・副学長 (美術科教育学教授))

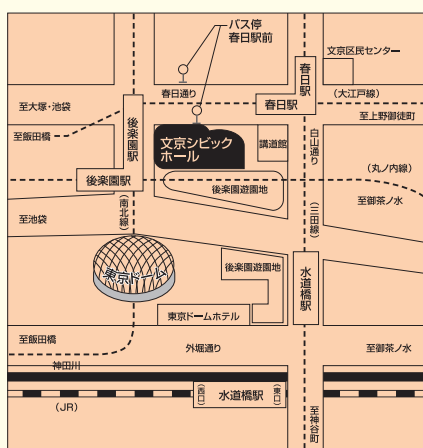
15:15 音楽演奏 国立音楽大学創立90周年記念 附属中学高等学校合唱団

16:00 研究発表 平成25・26年度 生きる力をはぐむ歯・口の健康づくり推進事業
東京都立志村学園

16:30 特別講演 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
スポーツディレクター 室伏 広治

17:30 閉 会

(敬称略)



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 →4aまたは5番出口 (徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 →5番出口 (徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
→文京シビックセンター連絡通路 (徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 →東口 (徒歩9分)

平成26年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 優秀作品の展示

平成26年9月25日(木)に開催された標記審査会で
優秀作品に選ばれた24作品を、新宿駅西口プロムナード・
ギャラリーに下記のとおり展示致します。

展示期間：平成27年1月4日(日)から

平成27年1月16日(金)まで

場 所：新宿駅西口プロムナード・ギャラリー

新宿区西新宿1-9

(新宿駅西口地下ロータリー前・

明治安田生命ビル地下)

